

## 活動報告「武蔵野 33 観音霊場（札所）巡礼 第 3 回」

2024-3-25 記 小川雅愛

- 実施日 令和 6 年（2024）3 月 21 日（木） 快晴、北西風、最高気温 9℃
- 札 所 第 7 番 徳蔵寺、第 8 番 圓乗院 & 第 13 番 金乗院（山口観音）
- 参加者 26 名 \*2024 年新入会員 2 名初参加

### ◆第 3 回コース概要

所沢駅西口バス停集合 9：10、西武バス西武遊園地行き乗車 9：20→將軍塚停 9：30  
徳蔵寺着 9：45（巡礼）→正福寺着 10：45（見学・休憩）、正福寺バス停発 11：15→  
圓乗院着 11：30（巡礼）→\*金乗院へ直行グループと昼食後巡り想定グループ組とに分か  
れ行動のため圓乗院にて解散 11：55、直行グループは武蔵大和駅発 12：20→西武球場前駅  
へ、金乗院=通称 山口観音は上記により全員一斉の巡礼はなし。

### ◆コース補足

3 回目は東村山市、東大和市の所沢の南隣り 2 市札所を巡るコースなので今年の 2 回目に  
比べ比較的歩きやすいコース設定となっているが終えるのは午前中で一杯一杯。所沢市内  
にはこの札所は 7 つもあるが型どおり順番に 9 番寺實蔵院に行くと移動の時間がかかる。  
2012 年 5 月実施の 3 回目巡りは 2 寺に絞って実施しているようである。今回もそのように  
するか迷ったが 4 回目以降を効率よく巡りたいので、13 番寺金乗院まで延ばすことにした。

### ◆札所他コースの拠点活動状況

◎第 7 番徳蔵寺—臨済宗大徳寺派、札所本尊は白衣観音、板碑保存館がみどころ

つい最近、高橋先生の「太平記ゆかりの地」解説で歩いた八国山將軍塚・鳩峯神社・久米  
川古戦場跡など周辺を歩いている。將軍塚バス停から八国山を廻り込むように歩くとすぐ  
久米川古戦場跡に着く。その先にある徳蔵寺にほどなく到着する。



徳蔵寺 巡拝



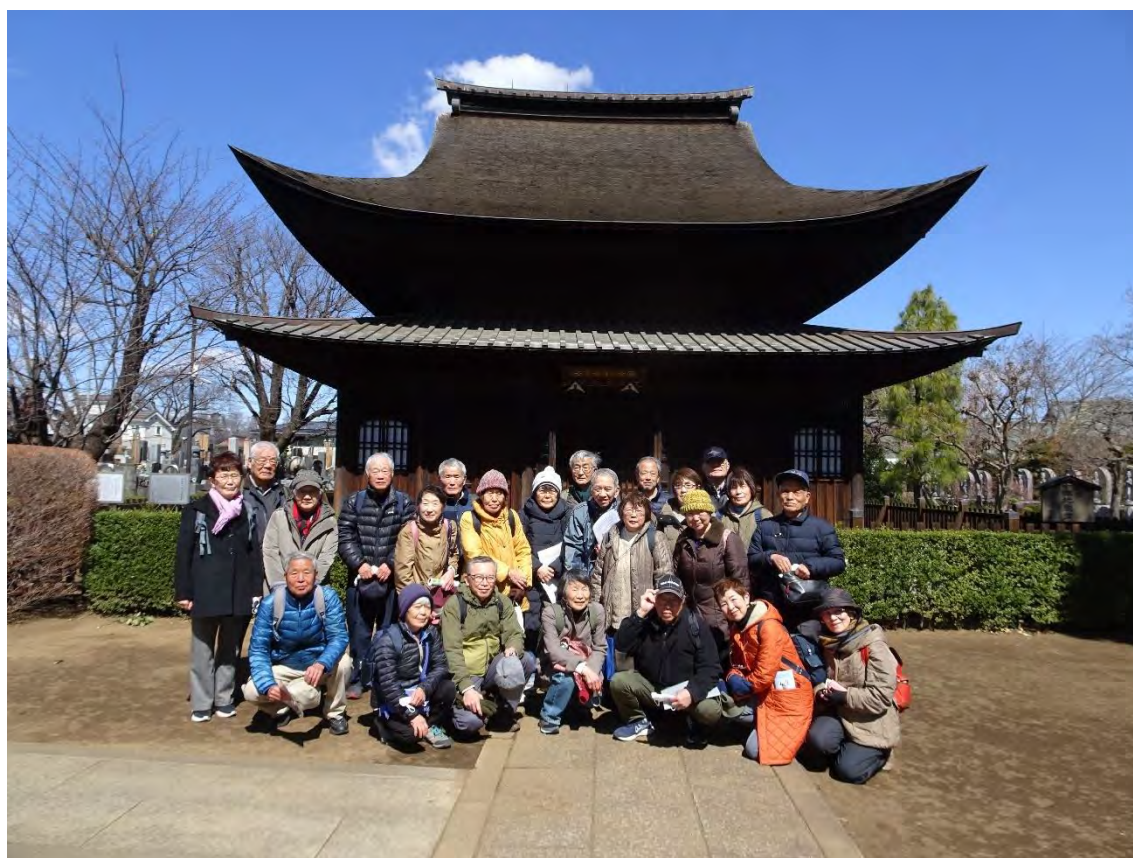
板碑保存館 元弘の板碑前

当寺院は狭山 33 観音霊場 13 番でもある。12 番も寺院内にあり永春庵である。元々、將軍塚付近にあった元弘の板碑は江戸時代、八国山の中腹の永春庵に移され、さらに庵とともに徳蔵寺に移された。本堂で巡礼を済ませてから、元弘の板碑で有名な板碑など 350 基の板碑（の一部）を公開している板碑保存館に入館料@200 円をそれぞれで払い、以前見学の数名を除き入場し、元弘の板碑と新田義貞関係の展示を主体に見学した。

南北朝時代の軍記物である太平記で記述されている新田義貞の元弘の乱、鎌倉街道沿いで起こった戦いの状況を生々しく伝え、実証性を示すものとして板碑が一級の重要文化財であることを高橋先生も解説されていた。板碑は「板石塔婆」「青石塔婆」が正式名といわれ供養塔であり、一説には木製塔婆が転化したものとされる。

◇正福寺一国宝・千体地藏堂は東京都内唯一の国宝建造物。室町時代の建立

徳蔵寺を出て、東村山ふるさと歴史館のそばを通り、弁天池を過ぎほどなく正福寺に着く。ここは数年前に訪れ、旧会員にはなじみの寺であるが、最近は入会の方も多くなっているのので、巡礼中継点として立ち寄り、見学と休憩をとる。唐様の屋根はいつ見ても美しい。鎌倉円覚寺舍利殿と並ぶ禅宗様建築とされる。下見時はここから圓乗院まで徒歩 35 分位歩いたが、今日は徳蔵寺板碑保存館に見学時間を割くためと季節外の寒い北風、しかも狭い道の大勢での徒歩は危ないので正福寺バス停からバスを利用した。バスはわずか 10 分で園乗院の坂下に着いた。



◎第8番 圓乗院一真言宗智山派 札所本尊 如意輪観音 境内の景観が見どころ

坂の中間の丘陵地高台にあり、見晴らしはよい。山門と鐘楼を兼ねた珍しい江戸時代建立の鐘楼門をくぐると植え込みが綺麗に整えられた庭園風の境内が広がる。東大和の20景に数えられる名園である。当寺院は865年前の平治の乱で知られる平治元年開山されたと伝わる古刹で、不動尊、薬師如来、地藏尊、と珍しい2臂（通常は6臂）の如意輪観音像などがある。ここにも東大和市指定文化財の板碑が保存されている。巡礼を済ませて、ちょうどお昼になり、参加者に今後の行動の希望を聞く。結果は金乗院巡礼を終えてランチ希望12名、ここ武蔵大和駅付近ランチ希望13名とほぼ半々、門前で当活動の暫定解散とする。



圓乗院鐘楼門



圓乗院 境内（一部）

◎金乗院（山口観音）の巡礼について

サークル活動でも2度訪問、近くに住む会員も多く、参加者にはなじみの寺である。園乗院から所沢に戻るルートにあるので、巡礼に組み入れたが当初の計画通りにはいかなかった。12時台に金乗院到着グループは巡礼後、門前の茶屋でお清めの食事をした。今回は都合で巡礼できなかったグループはこの企画の完結する結願寺巡礼までに個人で行ければよいと思う。武蔵大和駅付近ランチグループは近場で唯一営業のうどん店に入る。丁寧な手作りうどんの店で予想以上に食事時間がかかり、店を出たのはなんと3時過ぎとなり、今回の参拝は断念した。なお、ランチ時間は3つのテーブルごとのコミュニケーションができたのは良かった。

◆第3回の総括と反省・課題

2月企画段階には今年は例年になく暖冬で、桜の開花は昨年より1週以上早いとの報道により、圓乗院巡礼後には武蔵大和駅付近のランチ店が見当たらないため、桜の名所の狭山公園で弁当ランチも想定していた。実施日が近づいて、寒さがぶり返し、3月18日（月）に

は所沢で風速 28 メートルの強風、前日は雷雨、実施日は晴れてはいるが 2 月並みの気温と冷たい北風が吹き、参加者の意向を勘案して当初案は中止せざるを得なかった。弁当ランチを想定の方には迷惑をかけた。

巡礼は 1 回 3 札所とすると昼前に終わるには駆け足となり、巡礼と寺の見学とガイドを聞くなどを両立させるのは厳しいし、ランチの混雑を避けるための 11 時台の終了は難しい。

武蔵野 33 観音霊場は昭和 15 年に開創されたが江戸時代には各地に多くの観音霊場巡りがつくられ大流行したという。江戸時代の庶民は何を願って札所巡りをしたのであろうか。

当時は疫病が流行したので、罹病しないように、病氣平癒であろうか、3 回目を終えてそんなことを考える。観音様には多様な願いをすることができるという。この巡礼はお互いの健康を確かめ合い、元気に交流する機会が増えるのでそれなりによいと思う。

世界では地域紛争、テロ、戦争は絶えず、痛ましい惨禍が続いている。戦争は一日も早く終わり、平和が訪れるように祈らずにはおられない。

みなさんが幸せでありますように。

#### <注記>

徳蔵寺板碑保存館、正福寺に関しては HP の当会活動報告 2021 年 3 月「八国山巡り・神社仏閣を訪ねる」に掲載しているので参照ください。

#### <参考資料>

「武蔵野三十三所観音巡礼」 武蔵野観音霊場会編 朱鷺書房  
「鎌倉街道上道」 小原昭二著 けやき出版  
「徳蔵寺」ガイド

担当 A グループ 大舘 黛 谷 小川



狭山公園 2024 年 3 月 18 日